



吉原美智恵議員

### 「メタボ健診」の周知と 取り組みは

#### 多様な方法で進めて行く

**問** 今年、4月より、40〜74歳の方への特定健診いわゆる「メタボ健診」が義務づけられた。

内臓肥満が一因とされる生活習慣病の発症や重症化を予防するためであるが、平成24年度までに10%減少させるという目標値が定められており、その達成率によって国が

らの補助金も上がったたり、下がったりするというペナルティーが課せられている。

健康診査の受診率が19年度は、29・5%という状況の中、この健診への町民の理解、周知徹底、目標値クリアのための作戦をどのように展開して行くのか。

**答** (山口町長)

町が行う対象者は、国民健康保険加入者だけではないが、制度が変わったことや、その趣旨について十分理解が浸透しているとは言えない現状である。

これらの周知について、該当者に各種健診の手続き等が変わったことのお知らせを送った。

また、各地区の健康づくり推進員さんや、愛育委員さんに説明し、周知の協力についてお願いしたところである。

目標値クリアを目指して、「3B体操」・「水中ウォーキング」・「肥満解消教室」・「大山賛歌体操」の普及を進め、メタボ対策のムードを盛り上げ、受診率向上につなげて行きたい。



大山賛歌体操でメタボを撃退

### 大山チャンネルの 今後の活用策は

#### 番組制作の技術アップを図る

されていた。昨年、行事を30分位かけて放映されており、5分だけのハイライトでは、その行事の良さも伝わらない。

番組制作は専門的な技術や経験を要し、現在の2名のスタッフでは多忙を極め、厳しい環境のようである。

人材養成を含め、見側の代表の意見を聞くモニター会議の設置等、これからの3チャンネルの活用策はどうするのか。

**答** (山口町長)

番組については、昨年のだからだと長過ぎるという反省から、特別番組は、1本15分の番組も作るとして現在の形になっている。

現在の人員と設備では、番組の量や質は多くを望めないが、町民の皆さんのご意見を頂きながら、経験を重ね、技術アップを図り、見る人を退屈させない、地域に密着した番組制作をしていきたいと考えている。

**問**

昨年、約19億円という多大な経費を投入して光ファイバーネットワークが完成した。

その目玉事業のひとつである「大山町3チャンネル」が始まって1年が経過しようとしている。

多くの町民が、我が町の3チャンネルに期待し、有力な情報伝達の機会ととらえていると思う。

自主番組に目をやると、5月の時点では、1日3回、30分の放送が流れ、その内容は、行事のハイライトが5分刻みで放映



よりよい3チャンネルにと頑張っています